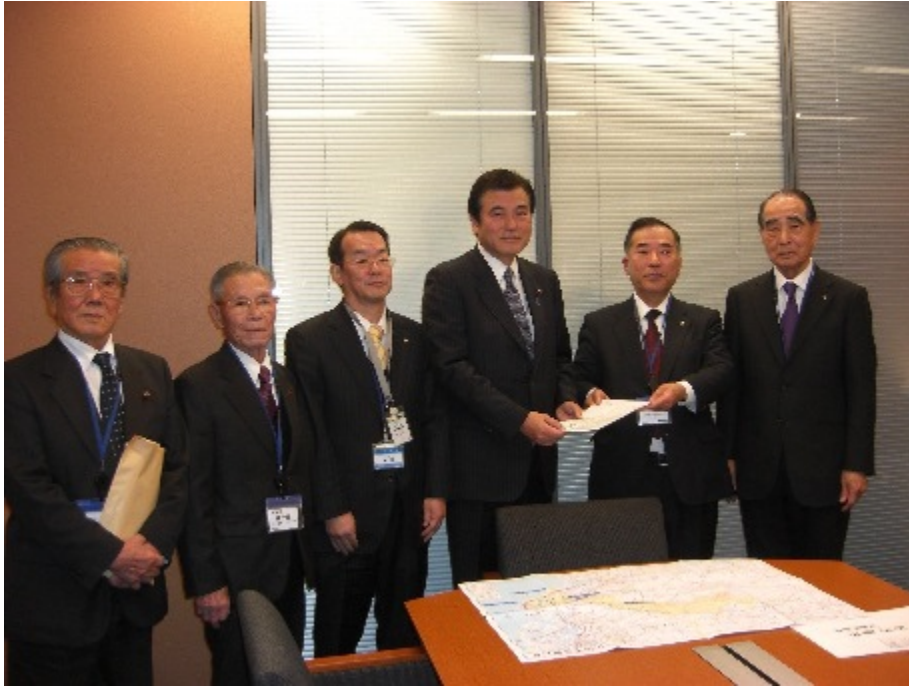


川崎縦貫道路等の早期整備について



(左より)弾塚副会長・和田副会長・齋藤副市長・城島衆議院議員・山田会頭(会長)・寺尾副会長

平成23年12月26日

国土交通大臣
前田 武志 殿

川崎商工会議所 会頭 山田 長満
川崎市の幹線道路の整備を促進する会
会長 山田 長満
川崎市長 阿部 孝夫

川崎縦貫道路等の早期整備について(要望)

先の東日本大震災は近代災害史上類を見ない被害をもたらしましたが、ようやく復旧、復興の槌音も聞こえ始めてまいりました。広域的な道路交通ネットワークが復旧、復興活動における人・モノの輸送に大きく貢献したことは言うまでもなく、この災害を通して改めてその重要性を認識したところであります。

川崎市は首都圏の中央に位置するとともに、羽田国際空港と隣接し、京浜港湾の中心にも位置する優れた立地性を有しており、川崎縦貫道路や東京湾岸道路といった広域的な幹線道路のクロスポイントとして、首都圏に波及する大きなポテンシャルを有しております。さらには、基幹的広域防災拠点として重要な役割も担っているエリアでもあることから、災害時における交通機能の確保という観点からもミッシングリンクの早期解消は不可欠となります。

しかしながら、川崎縦貫道路をはじめとする、幹線道路の整備は進展しておらず、首都圏における優れた立地性や防災機能を十分に発揮する状況にないことから、大震災の教訓を生かした早急な対応を求める声が、産業界や市民からも数多く聞かれております。

つきましては、一刻も早くミッシングリンクを解消し、国際物流拠点強化、災害時緊急輸送及び迂回機能の強化、環境改善、新産業誘発など多様な効果を生む次の3点の幹線道路整備にご高配を賜りたくお願い申し上げます。

1. 川崎縦貫道路Ⅱ期計画について、東京外かく環状道路東名以南との一本化を含め幅広く検討を進め、早期に計画の具体化を図ること。
2. 川崎縦貫道路Ⅰ期事業の街路計画を基本に、国道409号の一般部の先行整備や川崎駅周辺の交通円滑化のための国道15号～国道1号間のバイパス化などの整備に必要な予算を確保し、早期実施を図ること。
3. 羽田連絡道路の整備について、早期にルート・構造の検討を進め、国主体による事業として着手するとともに、一般国道357号について、早期に効果が発揮される整備手法等を検討し、早急な対策を講じること。

以 上